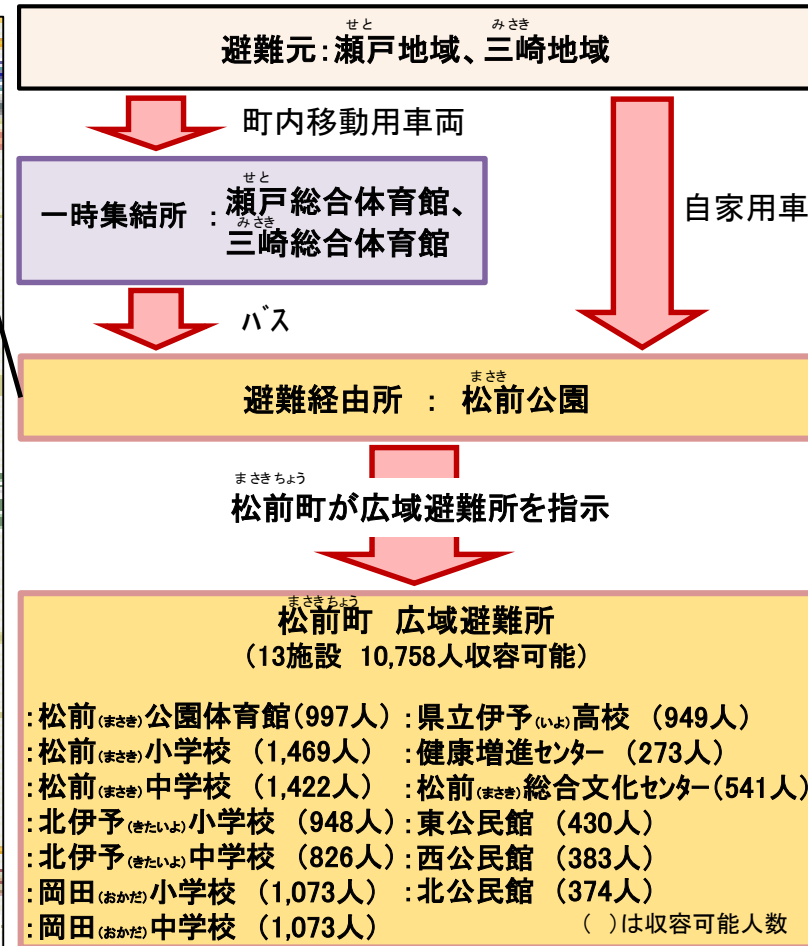
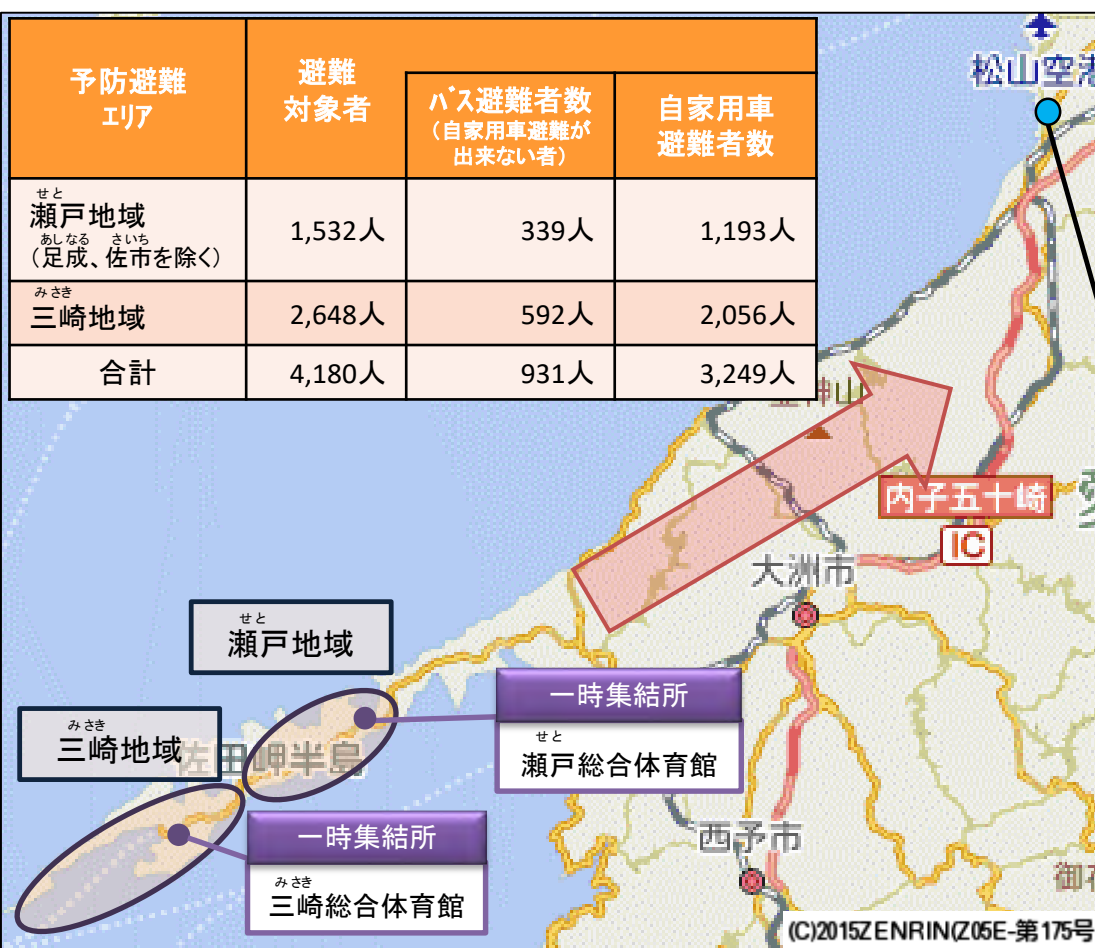


# (ケース1及び2) 予防避難エリアの住民の避難

- 伊方町<sup>いかたちょう</sup>の2地域<sup>せと</sup>（瀬戸地域<sup>せと</sup>、三崎地域<sup>みさき</sup>）の住民の避難先については、自家用車での避難できる住民は、自家用車により松前町の避難経路所<sup>まさき</sup>（松前公園）に移動後、松前町の指示する広域避難所<sup>まさき</sup>に避難。
- 自家用車での避難が困難な住民は、町又は県が配車した町内移動用車両<sup>まさき</sup>で一時集結所<sup>せと</sup>（瀬戸総合体育館<sup>せと</sup>、三崎総合体育館<sup>みさき</sup>）に集合し、避難経路所<sup>まさき</sup>（松前公園）へバスで移動のうえ、松前町の指示する広域避難所<sup>まさき</sup>に避難。
- 2地域における避難先については、避難計画に関する住民説明会等を通じて対象となる住民に周知。



※1避難対象者数は、予防避難エリア住民の合計数から割り出した数字であり、若干の増減がある。  
 ※2自然災害等により松前町の避難先が使用できない場合に備え、第2避難先候補として今治市と上島町を設定。

- ▶ 予防避難エリアの観光施設における1日当たりの入場見込み人数は約1,200人、民間企業(従業員30人以上)は3社(190人)存在。

## 予防避難エリアの観光施設の状況

地域名	施設数	入場見込人数
<small>せと あしなる さいち</small> 瀬戸地域(足成、佐市以外)	12	682人程度
<small>みさき</small> 三崎地域	5	472人程度
<b>合計(17施設)</b>		<b>1,154人程度</b>

※入場見込人数については、入場ピーク時(8月)における1日当たりの入場者数を基に算定

観光施設における入場見込人数:平成26年実績

## 予防避難エリアの民間企業(従業員30名以上)の状況(詳細)

地域名	民間企業名	従業員数
<small>せと あしなる さいち</small> 瀬戸地域(足成、佐市以外)	朝日共販(株)	94人
<small>みさき</small> 三崎地域	西宇和農業協同組合三崎共選	59人
	西宇和(農協)三崎出張所	37人
<b>合計(3社)</b>		<b>190人</b>

※従業員については、通勤に使用する自家用車、バスで避難

【出典】平成24年経済センサス

## (ケ-ス1) 予防避難エリアにおいて全面緊急事態で必要となる輸送能力

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、合計約1,000人分：バス25台。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知（施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅）。

	想定対象人数※1	想定必要バス数	備考
自家用車で避難ができない住民	931人	21台	一時集結所にて乗車 1台当り46人程度の乗車を想定 【資料P54】
観光施設から避難する一時滞在者	115人	4台	バス1台当り46人程度の乗車を想定 1日あたりの観光施設の入場見込み人数1,154人程度のうち、約9割が自家用車や観光バスで来場する想定で、その1割を想定対象人数として算入。【資料P51】
<b>合計</b>	<b>1,046人</b>	<b>25台</b>	

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

※3 想定必要バス数は、瀬戸地域・三崎地域それぞれで必要となるバス数を合算

- 全面緊急事態発生時には、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者のために、愛媛県のPAZ・UPZ圏内市町のバス会社が保有する車両のほか、伊方町いかたちょうが保有する車両、四国電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、愛媛県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		25台	
(B) 確保車両台数		計25台以上	
確保先	愛媛県のPAZ・UPZ圏内市町のバス会社	22台以上	愛媛県のPAZ・UPZ圏内市町のバス会社が保有する車両総数262台
	<small>いかたちょう</small> 伊方町	3台程度	<small>いかたちょう</small> 伊方町が保有する車両8台(合計121人)の車両を使用

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請

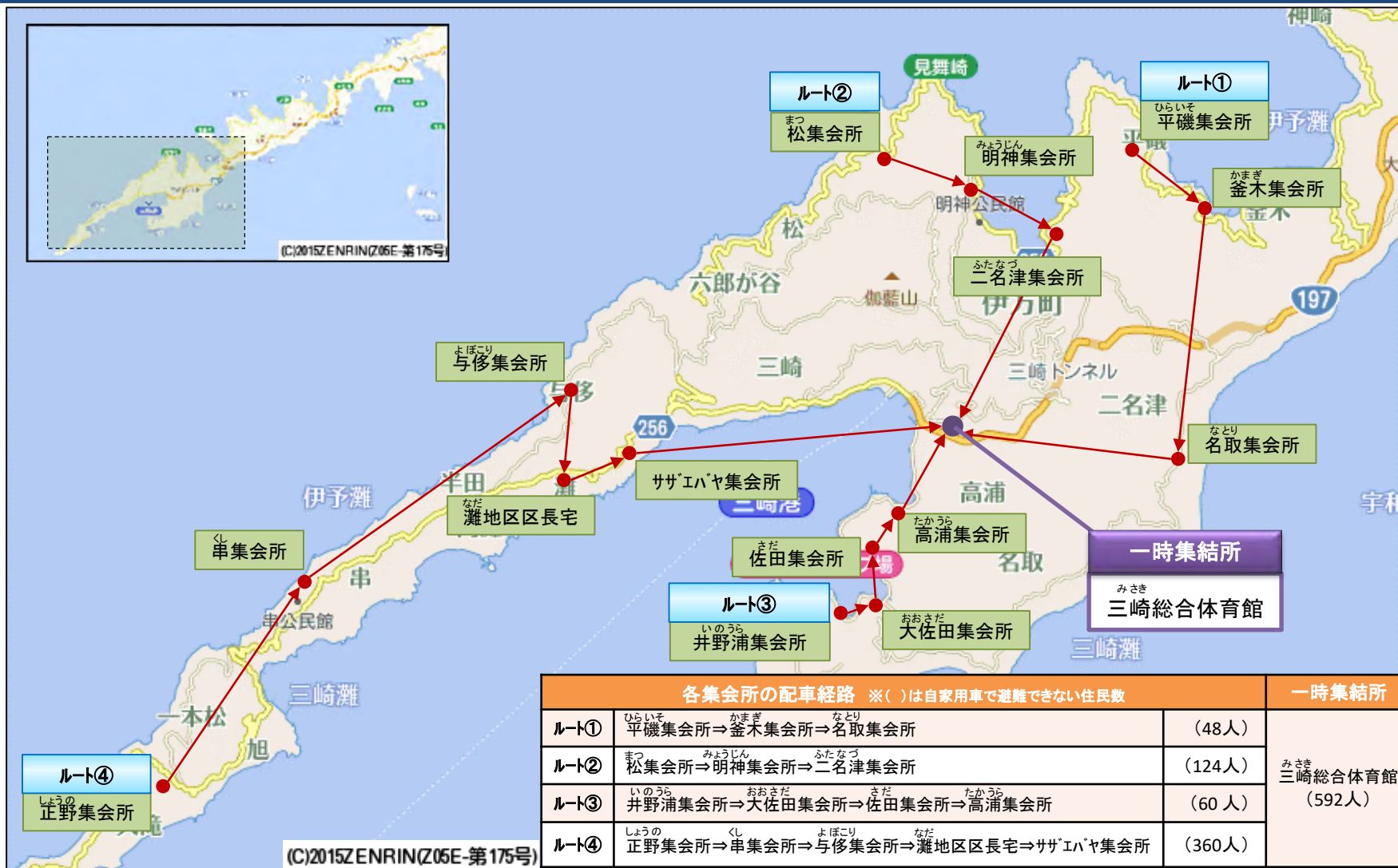
- 伊方町による全戸訪問調査の結果、瀬戸地域内の自家用車で避難できない住民は合計約340人。
- 自家用車で松前町の避難経路所（松前公園）へ避難が困難な住民は、徒歩で各集会所等に集合し、伊方町又は愛媛県が配車した町内移動用車両で、一時集結所（瀬戸総合体育館）へ移動。
- 三崎港から海路避難する場合は、一時集結所（三崎小中学校体育館）へ移動。



各集会所の配車経路 ※( )は自家用車で避難できない住民数		一時集結所
ルート①	あしなる 足成集会所※ ⇒ (さいち 佐市集会所※) ⇒ たくら 高浦地区区長宅	(0人)
ルート②	あげくら 上倉集会所 ⇒ せと 瀬戸町民センター	(80人)
ルート③	こじま 小島集会所 ⇒ しづ 志津集会所 ⇒ おおえ 大江集会所 ⇒ まつのはま 松之浜集会所	(27人)
ルート④	おおく 大久集会所 ⇒ せと 瀬戸社会教育会館 ⇒ しおなし 塩成集会所	(191人)
ルート⑤	こうざき 神崎集会所 ⇒ たぶ 田部集会所 ⇒ こうも 高茂消防倉庫 ⇒ せと 瀬戸アグリピア	(41人)
		せと 瀬戸総合体育館 (339人)

※足成集会所、佐市集会所は予防避難エリアに位置するため、人数の積算対象外

- 伊方町による全戸訪問調査の結果、三崎地域内の自家用車で避難できない住民は合計約600人。
- 自家用車で松前町の避難経路所（松前公園）へ避難が困難な住民は、徒歩で各集会所等に集合し、伊方町又は愛媛県が配車した町内移動用車両で、一時集結所（三崎総合体育館）へ移動。



➤ 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、あらかじめ複数の経路を設定。

